

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学主催サイエンスカフェを開催  
暗室カフェ ～眼前の世界を光と影で体験しよう～

この度、熊本大学 人文社会科学系国際共同研究拠点が主催となり、一般市民の方を対象としたサイエンスカフェを下記のとおり実施する運びとなりました。つきましては、広く一般の方にお知らせいただくとともに、当日の取材方よろしくお願い致します。

記

【開催日】 平成28年2月21日（日）13:30～15:30

【場所】 熊本市現代美術館 「アートロフト」

【演題】 暗室カフェ ～眼前の世界を光と影で体験しよう～

【実施者】

講演者

慶田 勝彦 熊本大学 文学部 教授

野中 元 写真家・フォトグラファー

ファシリテータ

黒木 優太郎 熊本大学 研究コーディネーター

【定員】 定員20名（中学生以上推奨）

【当日内容】 ※詳細は添付のチラシをご参考下さい。

主な内容・記録するだけではない、写真とフィールドワークの深い関係

・フィルム写真の現像体験

・写真は<見る>もの？ それとも<読む>もの？

・野中氏&慶田氏によるケニア世界遺産「ミジケンダの聖なるカヤの森」と「カヤの長老」写真展示、学生が撮影した写真展示あり。

【申込方法】

件名を「サイエンスカフェ申し込み」とし、メールにて下記アドレスまで、必要事項を本文に記載の上お申込みください。

宛先 k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp

必要事項 1.参加者氏名 2.ご職業 3.ご連絡先

【企画運営・企画に関するお問い合わせ先】

熊本大学 大学院先導機構 URA 推進室  
研究コーディネーター 黒木・福田・若松

電話：096-342-3303, 3307

e-mail：k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 企画の趣旨

現在、一般市民の皆様の科学への興味関心が高まっており、研究内容を一般の方へ説明する事へのニーズが高まっています。この事に関して熊本大学はこれまでも公開講座、授業解放や出前講義など、「地域に開かれた大学」として、知的好奇心がくすぐられる学習機会を地域の皆様に提供して参りました。しかし一方では、「大学はどうしても敷居が高い」「研究について知りたいけれど機会が無い」「授業を聞いても難しすぎて理解できない」といった声も良く聞かれます。

そこで今回、本学教員が大学から出て、地域の皆様が普段活用している場所で、授業でも講義でもない「サイエンスカフェ」を本学のURA※主催で行います。

サイエンスカフェとは、科学者などの専門家と一般の方々が、コーヒーなどを手に気軽に科学などの話題について自由に語り合う新しいコミュニケーションの場です。従来のシンポジウムやセミナーと異なり、講演者と参加者とが会話の中で素朴な意見や質問を気軽に、自由に交わすことができます。昨年2月に引き続き8月に開催したサイエンスカフェでは視覚だけでなく聴覚や触覚で感じる錯覚を体験していただき、認知心理学分野の研究について紹介しました。

今回は、写真の現像体験を通して、東アフリカでのフィールドワーク研究と記録について紹介します。

ゲストの慶田勝彦 熊本大学文学部教授は、写真家の野中元氏とタッグを組んで、世界遺産である東アフリカ ミジケンダの聖なるカヤの森を研究してきました。デジタルカメラが主流となった現代において、フィルムカメラによる現像作業を通して、写真の持つ力や、フィールドワーク研究と写真の関係性について一般の方にも解りやすく説明します。

また、地域の皆様が参加しやすいように休日の現代美術館で開催し、参加者は実際に現像作業を体験できますので、実際に研究に「触れる」事ができます。

今回のサイエンスカフェを通じて、地域の皆様の知的好奇心が満たされると共に、熊本大学の研究がどのように行われているのかを知って頂く機会となればと考えております。

※ **URA**：研究コーディネーター（University Research Administrator）。熊本大学では、学内の研究者の研究内容を深く理解し、研究者とともに研究活動を組織として円滑に実施するための業務を行うことが可能な専門的な職員として、研究推進戦略、産学連携を担当するURAが活動しています。



熊本大学発→サイエンスcafé

眼前の世界を光と影で体験しよう

# 暗室カフェ

## 2/21(日) 13:30-15:30

### 熊本市現代美術館 アートロフト

世界遺産「聖なるカヤの森」の研究と写真の関係

デジカメとはひと味違うフィルムカメラの世界。  
暗闇の中から写真が浮かび上がる瞬間を体験して、  
写真の持つ力とフィールドワークの深い関係について  
一緒に考えてみませんか？

入場  
無料

定員  
20名

参加申込は裏面へ！→

### GUEST

けいだ かつひこ  
慶田 勝彦



熊本大学文学部 教授  
映像人類学、文化人類学、東アフリカ研究などを  
専門とする学者。  
最近ではエイミー・ワインハウスのRehabが好き。



のなか はじめ  
野中 元



阿蘇在住のフォトグラファー・写真家  
NHK BSプレミアムで放映の「アリスのおいしい革命」や、  
妻で料理家『かるべけいこ』の料理本撮影ほか、  
雑誌『九州の食卓』など多数の雑誌で活躍中。  
最近では友人のすすめでワインのイロハを勉強中。  
1杯で酔えます(笑)

熊本大学 大学院先導機構  
人文社会科学系国際共同研究拠点 URA推進室 共催



# 申込先

熊本大学 研究推進ユニット

**k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp**

タイトルを「サイエンスカフェ申し込み」とし、本文にお名前、ご連絡先、ご職業を明記の上、上記アドレス宛てにメールでお申し込み下さい。

※定員になり次第受け付け終了させていただきます。

QRコードからも

お申し込みいただけます



## こんなことをお話ししましょう！

- ・記録するだけじゃない！ 写真とフィールドワークの深い関係
- ・デジタルじゃない！ フィルム写真を現像してみよう
- ・写真は「見る」もの？それとも「読む」もの？
- ・野中氏 & 慶田氏によるケニア世界遺産「ミジケンダの聖なるカヤの森」と「カヤの長老」写真展示、学生が撮影した写真展示のおまけつき！



## 注意事項

- ・特殊な道具を使うため、中学生以上推奨です。
- ・うまく撮れないなあとおっしゃっている方、フィルムカメラ初心者大歓迎です。（得意な人、詳しい人向けの内容とは異なります）
- ・現像道具等はこちらでご用意します。
- ・現像液を使います。使い捨てエプロンを用意しておりますが、汚れてもよい（捨ててもよいような）服と靴でお越しください！
- ・飲食物の持ち込みは、水、お茶のみ可です。  
水筒、ペットボトルなどこぼれない容器に入れてきてください。
- ・かしこまらず、気軽においで下さい。



## 熊本市現代美術館 アートロフト

### びふれす熊日会館内

通町筋電停または通町筋バス停から徒歩1分

#### ◆バス

熊本電気鉄道バス・九州産業交通バス・熊本市営バス・熊本バスの各バスより通町（とおりちよう）下車

#### ◆市電

熊本市営電車では通町筋（とおりちようすじ）下車

※本件に関する熊本市現代美術館へのお問合せはご遠慮下さい



## サイエンスカフェって何？

カフェのような気やかな雰囲気の中で科学を語り合おう

身近にある科学について、ゲストがわかりやすく解説します。

疑問に思うことは何でも聞いて下さい！



お問合せ先：熊本大学 URA推進室 担当：黒木(くろぎ)・福田 096-342-3303・3307